

## MA-IRW22シリーズ

- MA-IRW22  
R 206-000266
- DS-2292  
R 206-000231



- 最初に  
ご確認ください
- マウス本体 …………… 1台
  - 超小型レシーバー …… 1台
  - 単四乾電池(テスト用) …… 1本
  - 取扱説明書 …………… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEB(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

1. はじめに
2. 健康に関する注意
3. 警告
4. 対応機種・対応OS
5. 接続手順
6. 特長
7. 各部の名称とはたらき
8. マウスの準備(電池の入れ方、電源のON-OFF)
9. マウスをパソコンに接続(Windowsの場合)
10. マウスをパソコンに接続(Mac OS Xの場合)
11. ID(チャンネル)の設定方法
12. 「故障かな…」と思ったら
13. オンライン製品サポート
14. 保証規定

## 1. はじめに

この度は、超小型ワイヤレスIRセンサーマウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元にご置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 2. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。  
また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

## 3. 警告

- テレビ・ラジオの受信障害について  
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。  
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。  
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組合わせてお試しください。  
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。  
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。  
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。  
●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意  
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

## 4. 対応機種・対応OS

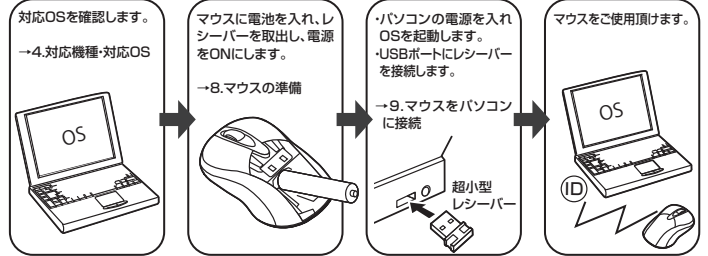
- 対応機種  
●Windows搭載パソコン、各社DOS/Vパソコン  
●Apple Macシリーズ  
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

- 対応OS  
Windows 8・7・Vista・XP・2000  
Mac OS X(10.2以降)  
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下による動作はサポートしません。

※機種により対応できないものもあります。  
※この文庫中に表記されるその他の製品の製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

## 5. 接続手順

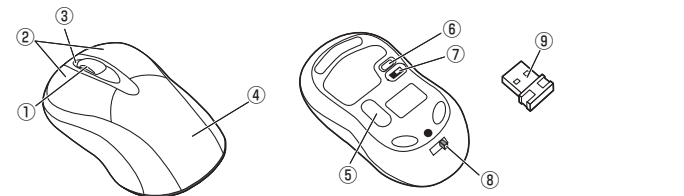
詳細は各項目をご覧ください。



## 6. 特長

本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、赤外線読み取りセンサーを搭載しており、低消費エネルギーで使用できる省電力設計で、単四乾電池1本で約3ヶ月間電池交換不要で使用できます。本製品はノートパソコンに差したまま持ち運べる超小型レシーバーと手のひらにすっぽりと収まる種小マウスで、モバイル・携帯に最適です。本製品は、使ったままに合わせたカーソルスピードを2000カウント、1500カウント、1000カウントに簡単切替えが可能です。

## 7. 各部の名称とはたらき



①ホイール(スクロール)ボタン …… インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを行います。

- スクロールモード …… インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押します。
- ズーム …… ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に入ります。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

②左ボタン・右ボタン …… 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きを行ったり、ポップアップメニューの表示をすることができます。

③電源LED …… レシーバーが接続された状態で電源スイッチをONにすると、電源LEDが約3秒間点滅し、消灯します。マウスを使用中に電源LEDが点滅を続けたり、電源スイッチをONにしても電源LEDが点滅を続けたりしたら新しい電池に交換してください。

④電池カバー …… このカバーを取外して、電池を入れます。また、レシーバーを収納することができます。

⑤IRセンサー …… 光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を実現します。  
※IRセンサー穴をすっとなじり、他人の目に向けしないでください。

⑥カウント切替えボタン …… ボタンを押すと、分解能を2000→1500→1000カウントに切替えることができます。

⑦電源スイッチ …… マウス本体の電源をON-OFFします。

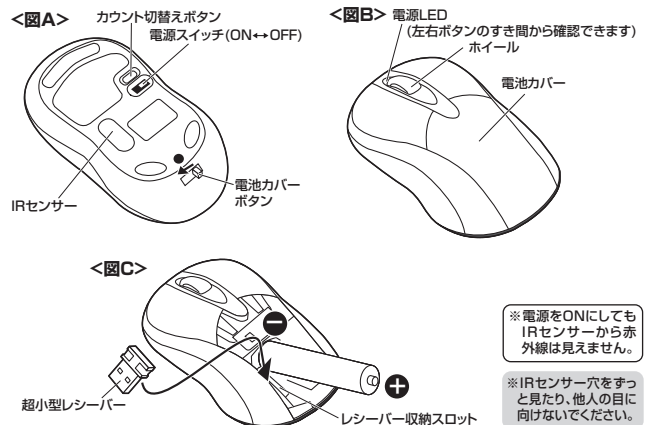
注意 本製品は、電池の消耗を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。  
マウスを復帰させるには、右ボタンや左ボタンを押してください。

⑧電池カバー取外しボタン …… ボタンを左にスライドすると電池カバーを取外すことができます。

⑨超小型レシーバー …… 15×19mmの超小型レシーバーなので、ノートパソコンに装着した際の出っ張りもわずか8mm。装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

## 8. マウスの準備(電池の入れ方、電源のON-OFF)

1. マウス裏面の電池カバーボタンを矢印方向に押し、電池カバーを開きます。(図A、図B参照)
2. 付属の単四電池をマウスに入れます。(図C参照)  
※正しい極性で入れてください。電池を入れた際、電源LEDが約3秒間点滅し、消灯します。(電源スイッチがOFFの状態ではLEDは点滅しません)
3. 電池カバーを取外した手順とは逆の手順で取付け、最後に電池カバー後部を上からカチッと音がするまで押すとロックされます。(図B参照)
4. ノートパソコンのUSBポートを空ける必要がある場合は、マウス内部のレシーバー収納スロットに超小型レシーバーを収納できます。(図C参照)  
※マウスを動かしている際、電源LEDが点灯したら、電池が少なくなっていますので、すみやかに交換してください。電池交換の際は、単四アルカリ乾電池をご使用ください。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります)  
※空になった電池をマウス本体内部に置いておくと液もれの原因になりますので、取出しておいてください。



※電源をONにしてもIRセンサーから赤外線は見えません。

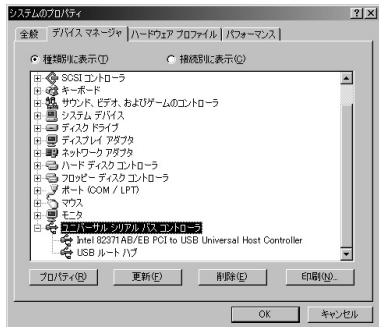
※IRセンサー穴をすっとなじり、他人の目に向けしないでください。

## 9. マウスをパソコンに接続(Windowsの場合)

### ■本製品をUSBポートに接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

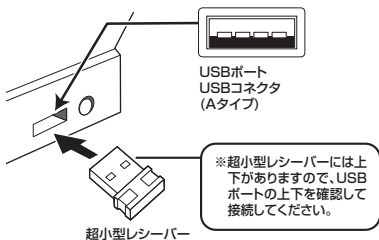
### ■BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。  
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体の取扱説明書をご覧ください。

### ■レシーバーを接続

※注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。

- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- ②超小型レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。
- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。



〈Windows 8・7の場合〉  
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows Vistaの場合〉  
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows XP・2000の場合〉  
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました」「使用できる準備ができました」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



※接続が完了したら、「1. ID (チャンネル) 設定方法」へ。

## 10. マウスをパソコンに接続(Mac OS Xの場合)

Mac OS X (10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンのクリックによる動作はサポートしません。

- ①パソコンの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
- ②超小型レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。
- ③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
- ④これでマウスをご使用いただけます。

※接続が完了したら、「1. ID (チャンネル) 設定方法」へ。

## 11. ID(チャンネル)の設定方法

### ※重要(必ずお読みください)

- レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。マウスを動かしても認識しないときはレシーバーを押し直してください。
- ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでないことがあります。
- 万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを押し直してください。

## 12. 「故障かな…」と思ったら

### Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。

1. マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(「B. マウスの準備(電池の入れ方、電源のON/OFF)」参照)
2. レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。(「9. マウスをパソコンに接続(Windowsの場合)」「レシーバーを接続」参照)
3. 付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんが、新しい電池に交換してください。(「B. マウスの準備(電池の入れ方)」参照)

### Q. マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。

1. 本製品は、電池の消費を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させるには、マウスを動かすか、右ボタンや左ボタンを押してください。

### Q. マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上で使用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
2. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上で使用してください。
3. ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線通信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるといった機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなることがありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを押し直してください。
4. 超小型レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

## 12. 「故障かな…」と思ったら <続き>

### Q. Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

### Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールバーハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなります。

## 13. オンライン製品サポート

### お問合せは弊社ウェブサイト

(<http://www.sanwa.co.jp/>)より「お客様サポート」→「お問い合わせ窓口一覧」→「製品について」→「マウス」のリンクをたどり、WEBでのお問い合わせ「入力フォームはこちら」に必要事項を記入して送信してください。



## 14. 保証規定

- 1) 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2) 次のような場合は保証期間内でも有償修理となります。
  - ①保証書をご提示いただけない場合。
  - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ③故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
  - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3) お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5) 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6) 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じては弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7) 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8) 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9) 保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
  - よくある質問(Q&A)
  - ドライバのダウンロード
  - 各種対応表
- など、最新情報を随時更新しています。



各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

2012.10現在

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990  
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 カジャマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-6310 FAX.06-6395-6315  
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078